

北九州エアターミナル株式会社

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（平成30年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町6番

2 設立年月日

平成元年5月1日

3 代表者

代表取締役社長 西田 幸生（平成30年6月25日就任）

4 資本金

3,524,000千円

5 北九州市の出資金

1,000,000千円（出資の割合 28.4%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	11	0	1	10
常 勤	4	0	1	3
非常勤	7	0	0	7
職 員	19	0	3	16

7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取り組みを進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

II 平成 29 年度事業実績

1 航空旅客

今期の日本経済は、企業収益や雇用環境の改善等により、景気は緩やかに回復した。

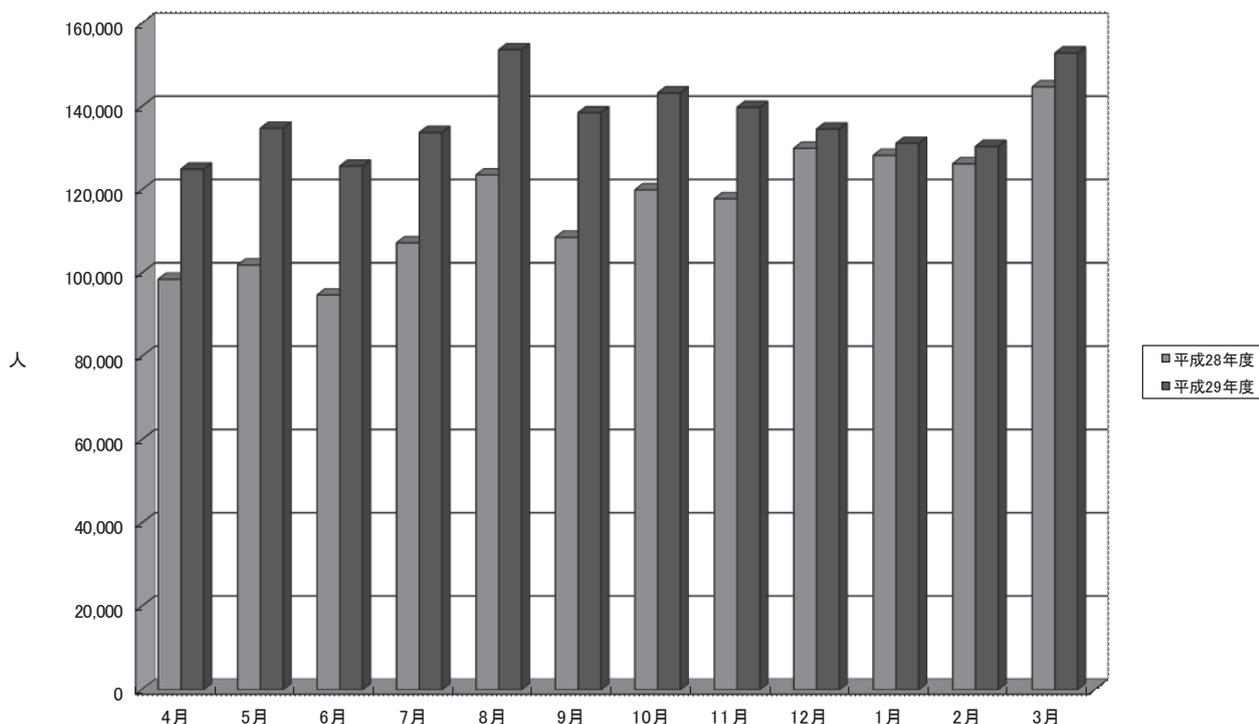
航空業界においては、政府が地方空港を対象とした訪日誘客支援空港制度を実施する等、インバウンド政策の更なる推進等により、アジアを中心とした訪日外国人客が増加した。

このような状況のもと、当北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約 1,308 千人（前期比 105.3%）で、開港以来、初めて 1,300 千人を超え過去最高となった。名古屋（小牧）線は、昨年 3 月 26 日から 1 往復減便となった影響があり、年間旅客数は約 25 千人（前期比 40.7%）と減少した。7 月に新規就航したスターフライヤーの沖縄（那覇）線は、10 月まで夏季運航した後、2 月から運航を再開し年間旅客数は約 28 千人となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国内線旅客数は約 1,362 千人（前期比 104.4%）で、約 58 千人の増となり、4 年連続で過去最高を更新した。

国際線は、韓国（仁川）線（前年度 12 月就航）の年間旅客数が約 146 千人（前期比 536.7%）、韓国（釜山）線（前年度 12 月就航）の年間旅客数が約 82 千人（前期比 234.0%）と通年化に伴い大幅に増加した。中国（大連）線（前年度 10 月就航）は運休期間があったものの、年間旅客数は約 18 千人（前期比 158.7%）と増加した。定期路線にチャーター便を加えた年間国際線旅客数は、約 282 千人（前期比 287.5%）で約 184 千人の増となり、過去最高となった。

この結果、国内・国際定期路線にチャーター便を加えた年間総旅客数は約 1,644 千人（前期比 117.2%）で約 242 千人の増となり、2 年連続で過去最高を更新した。

【国内・国際線旅客数（合計）の推移】

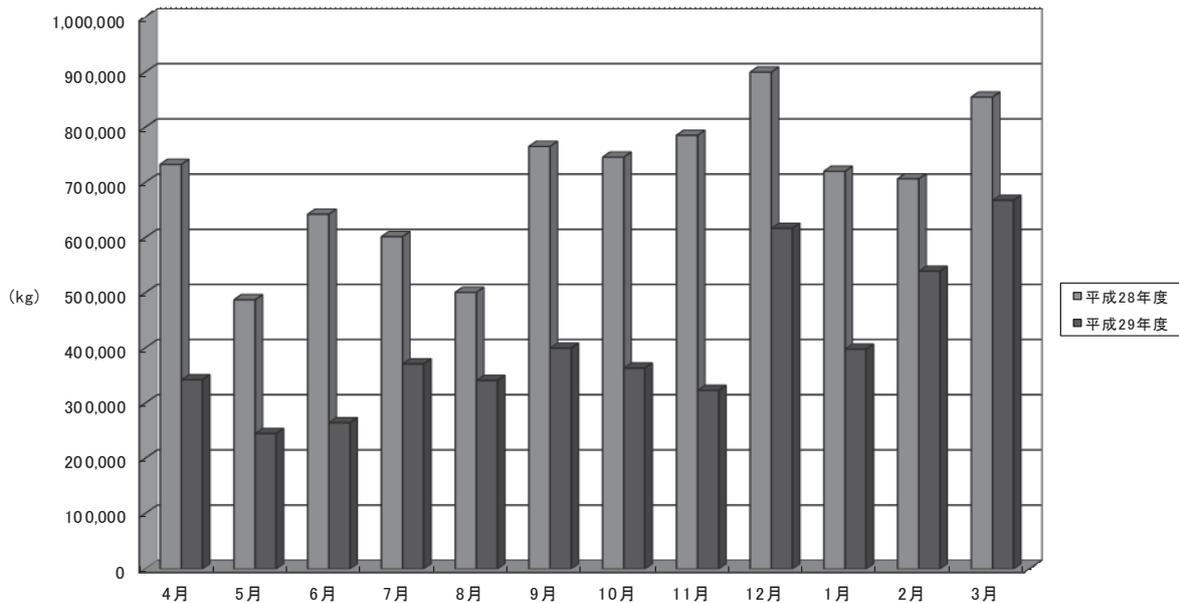


2 航空貨物

国内航空貨物の年間取扱量は、約3千7百トン（前期比60.9%）となった。

また国際航空貨物は、定期便が運休し、チャーター便が主体となったことから、年間取扱量は、約1千2百トン（前期比49.9%）となった。

【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】

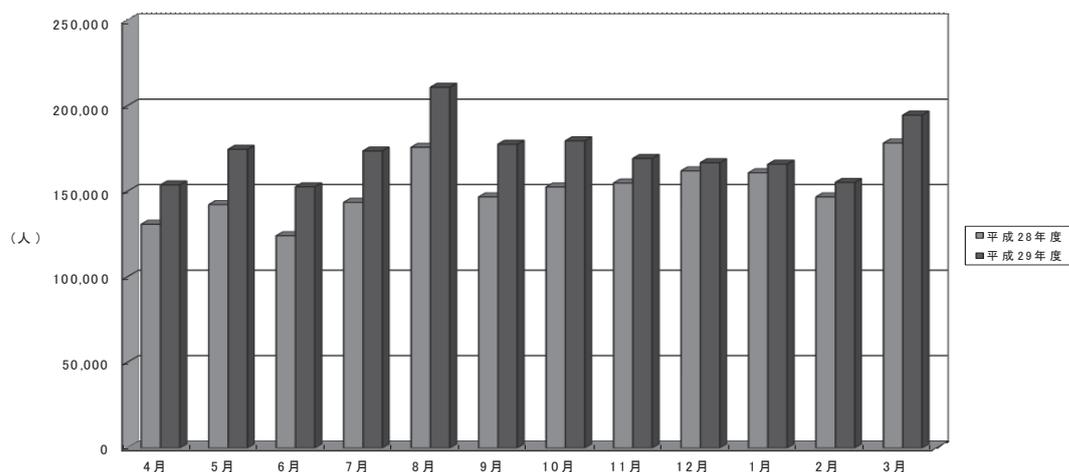


3 旅客ターミナルビル来館者

航空旅客に対して館内での快適な一時を過ごしていただくとともに、航空旅客以外の来館者の集客を図るため、空港周辺の自治体をはじめ、関係団体や関係者に対して、館内での作品展示やイベント等の開催を呼びかけるとともに、当社主催の四季折々を感じさせる多彩なイベントや作品展示会等を実施し、旅客ターミナルビルの「賑わいづくり」に取り組んだ。

この結果、年間の旅客ターミナルビル来館者は、約2,075千人（前期比114.1%）となった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
5月	グリーンパーク「春のバラフェア」PR展示
	宮地嶽神社 菖蒲まつりPR展示
6月	福岡県立筑豊高校ウェディングドレス展示
6月～7月	幼稚園児による七夕飾り
7月	小倉祇園まつりパネル展
7月～8月	田川市美術館PR展示
	ナイトトリップ in 北九州空港（各月1回）
8月	夏休みカブトムシ・クワガタ展
9月	「JAL飛行機の絵」作品展示
	福岡県京築PR展示
	北九州空港まつり
10月	ゆくはし遺産絵画展
	春秋太鼓・マーチング
	沼楽奉納演舞
11月	北九州空港菊花展
	空港おいしいまつり
	田川市美術館PR展示
	フォト&スケッチコンテスト展示・投票
12月	フレンズ幼稚園クリスマスソング披露
	「池坊」華空会 初冬の花展
	「新池坊」花展
	しの武おに画展
1月	ぜんざい振る舞い
	福岡県立筑豊高校ウェディングドレスファッションショー
	フラワーアレンジメント作品展
	田川市美術館PR展示
2月	ふぐ雑炊振る舞い
	「着物女子」作品展
3月	12周年感謝祭
通 年	豊前街道新鮮市

4 テナント売上増に向けた取り組み

入店者研修等の各種研修を実施しテナント従業員の能力向上を図った。

また、テナント店長会議において、航空会社の利用状況や、チャーター便の運航状況等を共有し、販売効率を高める努力を行った。

さらに、北九州空港テナント会と共同で、「ぜんざい振る舞い」等を開催し、お客様への日頃の感謝を込めたイベントを実施した。

5 施設整備等

国際線定期便の就航に伴う施設の狭隘化、航空旅客の利便性維持向上に対応するため、旅客ターミナルビルの大規模改修工事を開始するとともに、エプロンルーフ（接続通路）設置工事や車椅子対応パッセージステップの購入等を行った。

また、国際線保安検査場 X 線検査機器及び門型金属探知器の更新を行った。

6 経営状況

当社の経営については、国際線定期路線の運航通年化に伴い、便数や旅客数が増加したことから、施設使用料収入等が増加し、当期売上高は約 923 百万円で前期と比較し、約 123 百万円の増収となった。

売上原価、販売費及び一般管理費の合計は、施設の老朽化に伴う修繕費の増加や、国際線定期路線の就航に伴い施設や設備の維持管理費が増加したこと等により、約 804 百万円で前期と比較し、約 67 百万円の増加となった。また営業外収益は約 30 百万円となった。

以上の結果、税引前当期純利益は約 143 百万円で、当期純利益は約 133 百万円となった。

Ⅲ 平成29年度決算

1 貸借対照表

平成30年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	977,697,231	【流動負債】	390,754,992
現金・預金	877,877,704	買掛金	630,668
未収入金	84,980,731	未払金	255,279,970
商品	407,053	リース債務	4,271,310
貯蔵品	797,452	未払費用	2,048,900
前払費用	7,820,418	未払法人税等	40,378,900
繰延税金資産	5,813,873	未払消費税等	12,345,500
		前受金	25,603,377
		預り金	6,257,287
【固定資産】	4,102,623,978	預り保証金	5,596,080
(有形固定資産)	3,686,995,636	賞与引当金	3,343,000
建物	3,470,159,582	預り建設協力金	35,000,000
構築物	45,987,473	【固定負債】	349,167,147
工具器具備品	34,249,255	預り敷金	28,496,400
機械装置	154,403	預り保証金	39,746,560
車両運搬具	18,221,790	長期リース債務	4,891,036
リース資産	8,186,630	退職給付引当金	9,279,772
建設仮勘定	110,036,503	預り建設協力金	140,000,000
		資産除去債務	113,699,839
		長期繰延税金負債	13,053,540
(無形固定資産)	5,746,242	負債合計	739,922,139
電話加入権	124,984	純 資 産 の 部	
水道施設利用権	759,375	【株主資本】	4,271,357,161
供給施設利用権	4,861,883	資本金	3,524,000,000
		利益剰余金	747,357,161
(投資その他の資産)	409,882,100	その他利益剰余金	747,357,161
投資有価証券	409,582,100	繰越利益剰余金	747,357,161
出資金	300,000	【評価・換算差額等】	69,041,909
		その他有価証券評価差額金	69,041,909
		純資産合計	4,340,399,070
資産合計	5,080,321,209	負債・純資産合計	5,080,321,209

2 損益計算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
I 売上高		922,520,424
売上高	34,045,960	
家賃収入	317,970,937	
管理費収入	203,623,175	
設備使用料収入	342,055,741	
広告料収入	24,824,611	
II 売上原価		6,431,077
売上総利益		916,089,347
III 販売費及び一般管理費		803,965,396
営業利益		112,123,951
IV 営業外収益		30,467,058
受取利息	10,032	
受取配当金	2,370,800	
雑収入	28,086,226	
経常利益		142,591,009
V 特別利益		28,369,316
補助金	28,369,316	
VI 特別損失		28,369,316
建物圧縮損	12,010,983	
器具備品圧縮損	7,025,000	
車両運搬具圧縮損	9,333,333	
税引前当期純利益		142,591,009
法人税、住民税及び事業税	45,538,975	
法人税等調整額	▲36,038,355	9,500,620
当期純利益		133,090,389

IV 平成30年度事業計画

北九州空港が24時間運用の海上空港の特色を活かし、北九州地域の九州・アジアの空の玄関口として、また、人・モノ・サービスの流通拠点として、より一層飛躍・発展するように取り組んでいく。

1 航空旅客

国内線・国際線ともに平成29年度の旅客数が堅調に推移したことを受け、行政や団体と連携をとり、便数の増大、路線の拡大、新規航空会社の誘致を目指し、関係機関への積極的な要望活動を行う。

特に国際線については、旅客ターミナルビルの大規模改修により冬ダイヤから同時2機対応が可能となるため、行政や団体と連携をとり、国際線航空会社の誘致や集客を強化し、力強いインバウンド需要を取り込む。

5月から定期便となるコリアエクスプレスエアの韓国（襄陽）・韓国（務安）線、10月28日から新規就航するスターフライヤーの台湾（台北）線は、航空会社や行政及び団体と連携をとり、PRを実施する等、集客を支援する。

2 航空貨物

6月4日に新規就航するANA Cargoの関西→北九州→那覇線の安定的な運航と国際貨物チャーター便の運航を支援するため、行政や団体と連携をとり、随時地上支援機材の整備・更新等を行う。

また、滑走路3千メートルへの延伸実現に向け国への要望活動等を行う。

3 ターミナルビル来館者

各種イベントを実施し集客を図る。東九州自動車道の全線開通を含め北九州空港圏域の情報発信を強化する。また、引き続き社会科見学等の施設見学を積極的に受け入れ、将来の利用者増に繋がる活動を行う。

4 テナント売上増に向けた取り組み

店員の意識改革や接客マナーの向上等を目的とした研修会を実施し、空港利用者へのサービスを改善し、売上高の維持・向上を図る。

5 整備計画

施設の狭隘化の解消及び受入能力の拡大を図るために前年度から行っている旅客ターミナルビルの大規模改修工事を計画どおり遂行する。

併せて、老朽化した施設や設備等のリニューアルを実施し、旅客ターミナルビルの利便性と快適性の向上を図る。

V 平成 30 年度予算

1 収支予算書

自 平成30年4月 1 日

至 平成31年3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	17,000
		家賃収入	334,000
		管理費収入	213,000
		設備使用料収入	343,000
		広告料収入	25,000
	小 計	932,000	
	営業外収入	雑収入等	28,000
		小 計	28,000
	合 計		960,000
	支 出	営業費用	売上原価
人件費			125,000
一般管理費			125,000
減価償却費			239,000
水道光熱費			104,000
租税公課			54,000
地代			25,000
管理委託費			180,000
小 計		856,000	
営業外費用		支払利息等	4,000
		小 計	4,000
合 計		860,000	
収 入 - 支 出		100,000	

VI 役員名簿

平成 30 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	現職
代表取締役社長	西田 幸生	
代表取締役専務	平床 司	
常務取締役	大脇 正人	
取締役	廣渡 健	九州電力株式会社 執行役員 北九州支社長
〃	東 俊明	日産自動車九州株式会社 取締役常務執行役員
〃	庄山 和利	西日本鉄道株式会社 執行役員北九州統括 西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
〃	福井 利彦	苅田町 副町長
〃	三好 忠満	新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所 総務部長
〃	梅田 弘人	TOTO株式会社 総務本部長
〃	長田 純	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室事業推進部 マネジャー
常勤監査役	田中 博幸	
監査役	川本 惣一	株式会社西日本シティ銀行 取締役副頭取 北九州・山口代表
〃	灰田 利明	行橋市 総務部長